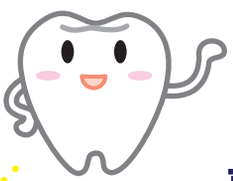
はやした歯科新聞

10 OCT

http://www.hayashita.jp/



歯を失った後の治療が大切なワケと咬み合わせへの影響

歯を失った後の治療が大切なワケ

○歯が抜けたまま長い間放置すると様々なトラブルの原因になります。

むし歯、歯周病、事故など年齢を重ねるにつれ、残念ながら失う歯の本数も増えます。厚生労働省が行っている歯科疾患実態調査では、一人平均の歯を失った本数は、66～69 歳で約 7.2 本、永久歯の本数は 28 本 (親知らずを除く) なので約 1/4 を失ってしまうことになります。60～64 歳で 4 人に 1 人の方が部分入れ歯を入れ、70～74 歳では 4 人に 1 人の方が総入れ歯を入れている事がわかります。歯が抜けたまま長い間放置すると様々なトラブルの原因になるので、歯を失った部分には歯を補う治療が必要です。

抜けたまま長い間放置すると・・・

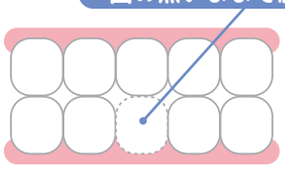
○見た目が悪い○歯ぐきが痩せ、顔が変形する○しっかり噛めないことで胃腸への負担がかかる
○周囲の歯が移動し噛み合わせが悪くなる○うまく発音できない○歯並びが悪くなる
○全身のバランスに悪影響を及ぼす○脳の活性化に影響

咬み合わせへの影響

○歯が動いて咬み合わせに影響すると余計な治療期間と費用がかかることに

歯は上下合わせて 28 本 (親知らずを除く) がバランス良く並び、物を噛んだり砕いたりしています。はじめて歯を失ったときは「歯はたくさんあるから 1 本くらい無くても・・・大丈夫」と思われるかもしれませんが、歯はその 1 本 1 本が重要です。だからこそ自然と 28 本生えそろうようになっているのです。そしてたった 1 本歯を失うことからお口全体の崩壊がはじまり、ある一線を越えるとどんどん崩壊していくことになるのです。例えば、歯を 1 本抜けたままの状態で長い間放置すると、イラストのように歯が動いてしまいます。こうなると噛み合わせに影響して、治療も難しくなり治療期間や費用も余計にかかります。他にも、むし歯や歯周病、歯並びが悪い、不適合な被せ物・詰め物がある、といった状態を放置すると咬み合わせに影響がでてきます。

歯の無いままで放置すると・・・



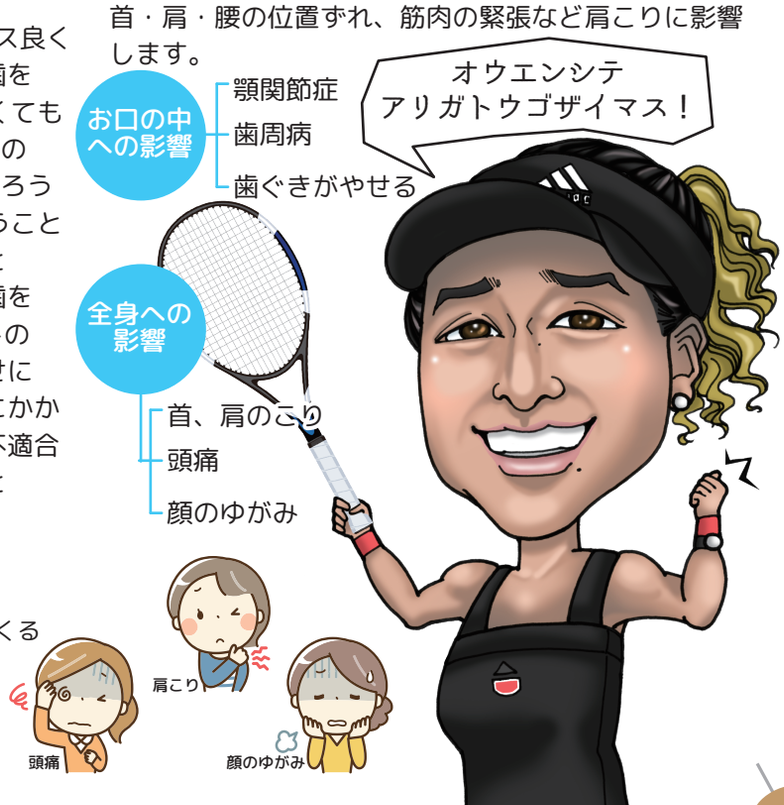
①歯の無い部分の両隣が傾いてくる
②咬み合っていた歯が動く
③その両隣の歯が動く

○咬み合わせと全身の関係

咬み合わせは全身のバランスを保つために重要です。咬み合わせが悪いとあごの筋肉に負担がかかったり、あごの位置がずれたりします。あごの位置がずれると、首・肩・腰の位置ずれ、筋肉の緊張など肩こりに影響します。

お口の中への影響
- 顎関節症
- 歯周病
- 歯ぐきがやせる

全身への影響
- 首、肩のこり
- 頭痛
- 顔のゆがみ



一般歯科、予防歯科、口腔外科、インプラント、審美歯科、ホワイトニング

はやした歯科医院

〒８５４－００４３　長崎県諫早市立石町２２番８号

TEL＆FAX：０９５７－３２－８１８１